

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
 代 表 者 名 代表取締役 藏本 健二
 (コード番号：6190 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 専務取締役管理部長 田村 康弘
 (TEL 082-431-0016)

平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年10月17日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,240	52	57	48	16.58
今回修正予想(B)	914	△250	△250	△254	△87.61
増減額(B-A)	△326	△302	△307	△302	—
増減率(%)	△26.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	1,228	142	133	128	44.43

2. 修正の理由

通期連結業績予想につきまして、国内製薬企業を中心に当社製品の有用性に関する学会発表が活発に行われていることを背景に、新しい分野となる化学薬品でのPXBマウスの使用拡大やPXB-cells販売が伸長しております。しかしながら、当期より本格的にスタートした米国でのPXBマウス販売につきましては、興味を示して頂く製薬企業はあるものの計画値には達しておらず、肝炎関連の受託試験サービスにつきましても、主要顧客である海外製薬企業での抗B型肝炎薬の開発状況は進展しつつありますが、受注高が対計画比で下回っている状況をカバーできず、売上高は前回予想を大きく下回る見通しであります。損益面につきましては、経費はほぼ想定どおりに推移しておりますが、売上高減少による影響から営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見通しであり、上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上